

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 大川、井谷、山本、矢古宇、中原、大石 以上6名
2. 山城/ルート 納涼クライミング
雪彦山 / 三峰東陵、不行岳（南東壁）地蔵岳正面壁（右カンテ）
3. 交通手段 車

4. 行動記録

<入山日 2022年8月20日>

第1日 8月20日（土）

6:00 神戸発 → 8:00 雪彦山 東屋

中原、大石、大川、矢古宇 ～ 右カンテ

8:15 東屋発→9:00 地蔵岳正面壁取付き→右カンテ→11:00 地蔵岳山頂→13:00 東屋

井谷、山本

8:00 東屋発→三峰取付き →東陵→不行岳南東壁 終了点から懸垂下降→13:45 東屋

大川、井谷、山本、中原、大石 「夢ノ井」 宿泊

矢古宇 雪彦キャンプ場 テント泊

第2日 8月21日（日）天候不順のため、グラビティリサーチ姫路で室内リードクライミング

大川、山本、矢古宇、中原、大石 参加

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ・8月20日は、午後から雨の予定だったため、大川、矢古宇、中原、大石は地蔵岳正面の右カンテに変更した。

井谷、山本は計画通り行動した。

- ・8月21日は早朝から雨だったので、グラビティリサーチ姫路で室内リードクライミングに変更した。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

- ・なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- ・該当なし。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・久しぶりの地蔵岳右カンテを登ったが、2ピッチめの終了点が良く分からず、1ピッチ目

終了点から 30mほど登ったところで、ザイルが重くなったので、ハンガーボルトとハーケンがあった、カンテ右壁で切った。さらに 10mほど登ったところに、錆びたリングボルトが 3 本あったのでここが正解かもしれない。

- ・雪彦全体にガスがかかり、湿った感じで、スリッパに注意しながら登った。
- ・右カンテ・パーティは行も帰りも一般登山道（裏登山道）でヤマビルに襲われ、1 人が噛まれ出血した。靴に「ヒルよけ」をたっぷり塗った 1 人はヒルには襲われなかった。
- ・雨にたたられたが、RC企画として懇親も図ることもでき、有意義な山行となった。

報告者 大川 肇 2022 年 8 月 26 日

(地蔵岳頂上での右カンテルートパーティ 4 名)

